

近代の記憶 民俗の変容と消滅 [2019年1月下旬刊]

野本寛一 [近畿大学名誉教授／日本民俗学] =著

◎四六判上製／400頁／本体3400円／ISBN978-4-909544-02-5 C0039

日本が失ってしまったもの

高度経済成長がもたらした社会変容によって、日本人の生活と価値観は大きく変わった。日本人が、それまで守り、また多大な恩恵を受けてきた「民俗」は、衰退・消滅を余儀なくされることになる。

最後の木地師が送った人生、電気がもたらした感動と変化、戦争にまつわる悲しい民俗、山の民俗の象徴であるイロリの消滅など、人びとの記憶に眠るそれらの事象を、忘却の波からすくいだし、記録として甦らせる。

高度経済成長期の末期から現在に至るまで、半世紀近く日本を歩き続けた民俗学者が聞き取った、失われた民俗の記憶。

●主要目次

序章 ムラびとの語りを紡ぐ	II イロリとその民俗の消滅
I 消えゆく民俗の記憶	5章 イロリのあらまし
1章 木地師の終焉と膳椀の行方	6章 イロリの垂直性
2章 電灯の点った日	7章 イロリと信仰
3章 山のムラ・生業複合の変容	8章 イロリもろもろ
4章 戦争と連動した民俗	9章 イロリ消滅からの思索

イロリなど、昭和の懐かしい写真を100点以上掲載

●版元より、書店の皆様へ

現役の民俗学者で、だれよりも長く、多くのフィールドを歩いてきた著者。その足跡に赤線を引くと、日本地図が真っ赤になってしまうとも言われます。本書では、北海道から沖縄まで、1970年代から現代までの間に聞き取った、失われた民俗の話（団塊の世代以上の方々にとっては、懐かしいもの多いと思います）が展開されます。話者は主に明治・大正・昭和初期の生まれの古老たち。秘されて語られてこなかった徴兵逃れの祈願の話など、戦争関連のものも重く響きます。II部で大量の写真とともに語られる、イロリに関する記憶は圧巻です。



高度経済成長は、日本人の価値観を大きく変え、
民俗は察察されず、失われることになった。
最後の木地師が送った人生、電気がもたらした感動と変化、
戦争によつわる悲しい民俗、
山の民俗の象徴ともいえるイロリの消滅など、
人びとの記憶に眠るそれらの事象を、
褪色ごとにかからずくいだし、記録として甦らせる。

日本が失ってしまったもの



株式会社 七月社

〒182-0015 東京都調布市八雲台2-24-6 電話／FAX：042-455-1385

帳合・番線	注文数	発行：七月社 電話：042-455-1385 野本寛一=著 近代の記憶 民俗の変容と消滅 四六判上製／400頁／本体3400円／ISBN978-4-909544-02-5 C0039
	冊	

ご注文はJRCへ／FAX 03-3294-2177

*返品条件付き注文扱い

*JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です